

【 学習・教育支援プロジェクト 】

学習・教育支援プロジェクト・リーダー 野々部宏司 デザイン工学部准教授

1 アクティブ・ラーニング、コラボレイティブ・ラーニングの推進

「アクティブ・ラーニング」(学生の能動的・自発的な学び) および「コラボレイティブ・ラーニング」(協働学習) を支援する環境の整備および広報活動を行う。

(1) eポートフォリオ・システムの実践例を収集・分析するとともに、学内ニーズの把握、試験的導入を進める。

(2) ラーニング・コモンズ(図書館) やアクティブ・ラーニング・スタジオ(小金井 edu) など、関連する取り組みとの連携を図る。

(3) 授業支援システム(CMS2011、2011年4月サービス開始)の改善、機能拡張の立案を、授業支援システム運営委員会を通して行う。

(4) 広報活動の一環としてワークショップの開催やホームページ上での情報発信を行う。

2 教員間の情報・知識共有によるFD促進

授業内容、教育方法、授業改善に関する教員間での情報・知識共有を進めることによりFDの促進を図る。

(1) 法政大学オープンコースウェア(OCW)のコンテンツを充実させると同時に、OCWを継続的に運営するための組織体制や仕組みについて検討する。利用促進の方策の一つとして、一般公開向けOCWに加え、学内限定公開のOCWを用意する。

(2) ICT技術を活用した教員コミュニティの構築(CMS2011上での構築を想定)を進める。

3 学習・教育支援活動への学生参加の推進

学習環境支援センター、図書館、国際交流センター、学生センター等と連携し、学習・教育支援活動への学生参加に関して議論および情報交換するとともに、FDに関する学生の意見収集を行う。